くらしをささえる名古屋港

わたしたちのくらしと港

わたしたちのくらしと名古屋港は、どのようにつながっているのか見てみよう。

鉄こう石は工場に運ばれて、自動車や缶づめなどに形を変えて、お店で売られています。

名古屋港に運ばれた魚･肉･衣類などは、お店に届けられてわたしたちのもとに届きます。

魚・肉・衣服など

コンテナ基地の様子 6 ページ

自動車

自動車積み出し基地の様子 7 ページ

鉄

鉄こう生産基地の様子 8 ページ

石油・ガス

石油基地やLNG基地の様子 9 ページ

とうもろこし･麦･木材など

こく物基地や木材港の様子 10 ページ

コンテナ基地の様子

コンテナ

魚･肉･衣服などをこのコンテナに入れて運ぶ。冷とう用や液体用など、運ぶものによって使い分けています。

ガントリークレーン

コンテナの積みおろしをしています。1時間におよそ30個のコンテナの積みおろしができます。

照明施設

基地を明るく照らすことで24時間荷物の積みおろしができます。

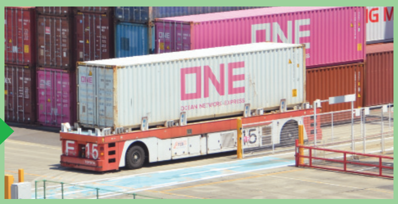
RTG(タイヤ式門型クレーン)

コンテナを遠かくそう作で積みおろすことができます。

遠かくそう作室

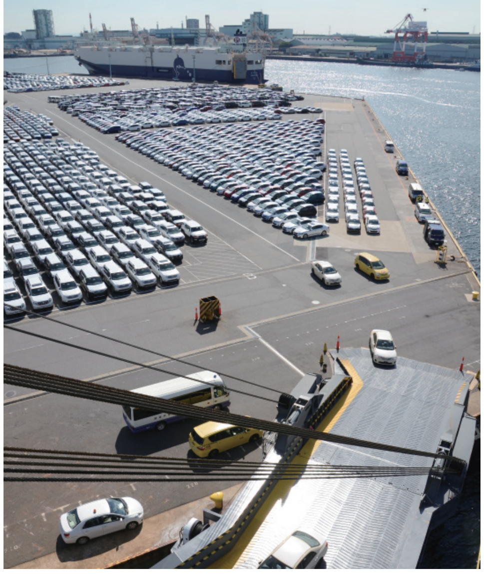
写真のように、コンピューターでそう作しています。

AGV（自働搬送台車）



ガントリークレーンとコンテナ置き場との間のコンテナ輸送を行う車で、運転席はなく、コンピューターで管理されています。

自動車積み出し基地(きち)の様子

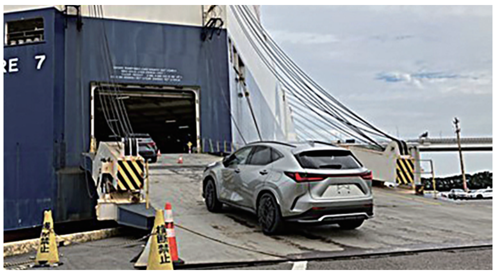


名古屋港には、この地いきの自動車工場でつくられた自動車を船に積みこむ基地が、いくつかあります。

ここは、バンテリンドームナゴヤのおよそ12個分の広さがあります。

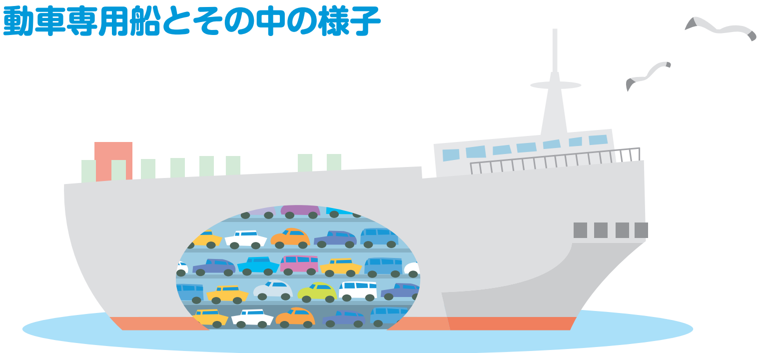
約37,000台の自動車を置いておくことができ、自動車専用船を3せきとめることができます。

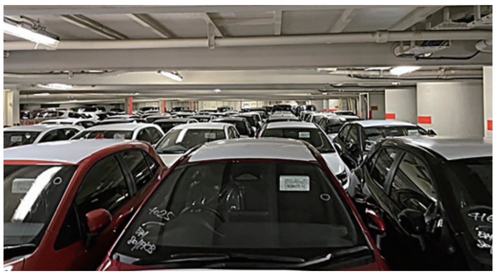
自動車専用船には、自動車が約5,000台も入ります。積みこむ時、自動車を運転する係や、船の中で自動車が動かないようにとめる係などに分かれて、15人1組で仕事をします。



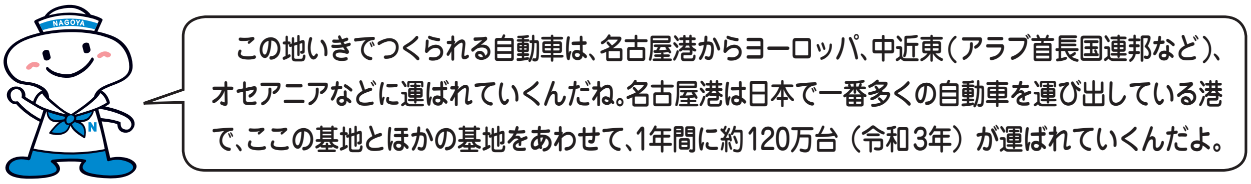
自動車を積みこむ様子

自動車専用船とその中の様子



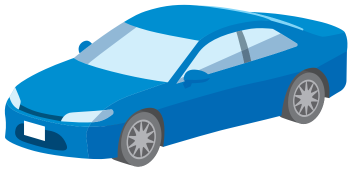


船の中で自動車をすき間なくとめる様子



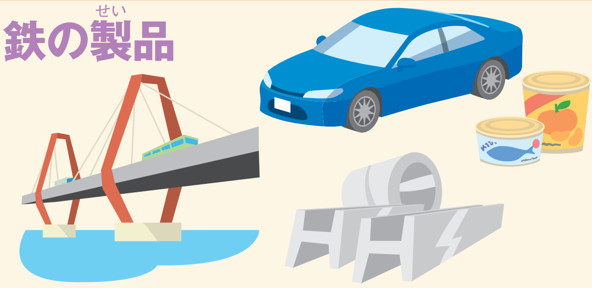
問3 名古屋港から外国へ運ばれていく自動車の台数は、1年間におよそ何台でしょう。

ア 1万台　イ 12万台　ウ 120万台

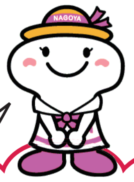


鉄こう生産基地の様子

鉄の製品



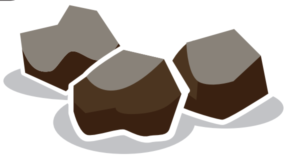
鉄の製品にはいろいろな形やあつさのものがあり、自動車や缶づめの缶などさまざまな形に変わって、生活の中に役立てられています。



鉄こう石は、鉄の原料となる成分を含んだ石で、粉状のものからかたまりまでいろいろあるんだよ。

問4 鉄は何からできているのでしょう。

ア 石油　　イ 鉄こう石　　ウ LNG

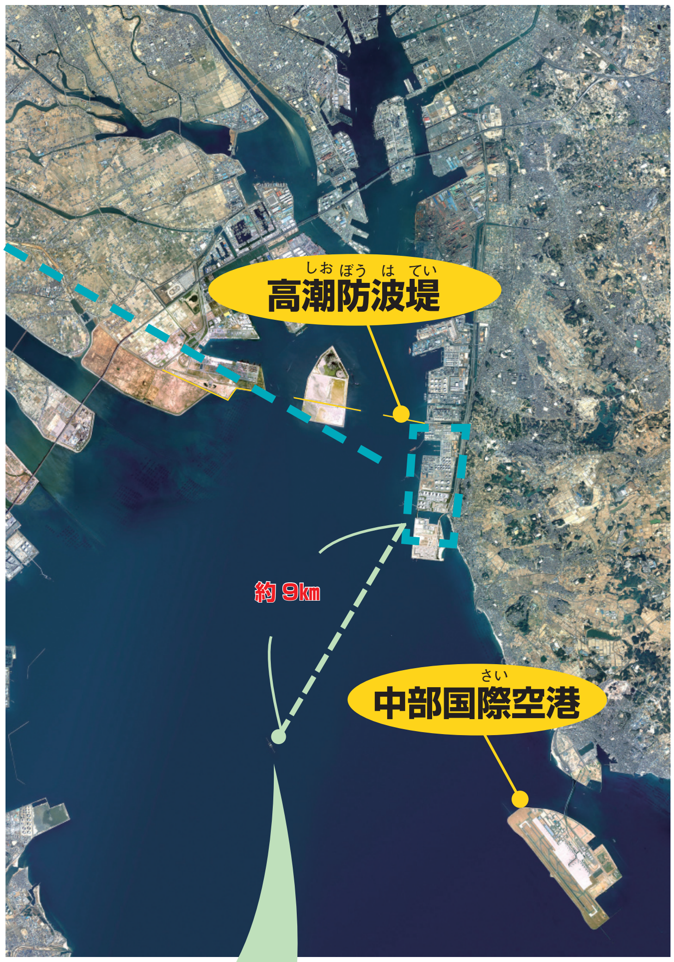


石油基地やLNG基地の様子

※ LNG…液化天然ガス

石油基地

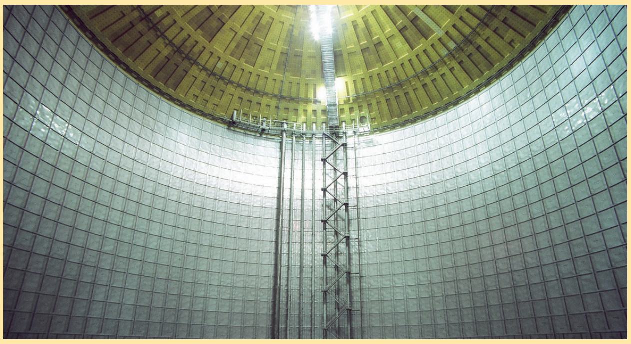
石油基地には、わたしたちの生活には欠かせない原油をためておくタンクがあります。他にも、石油製品をためておくタンクや、原油から自動車の燃料であるガソリンをつくる製油所があります。



LNG 基地

LNG基地には、火力発電所の燃料や、わたしたちが家で使っている都市ガスの原料となるLNGをためておくタンクがあります。

▼地下式 LNG タンクの中の様子



伊勢湾シーバース

伊勢湾シーバースは、海の上にある原油の受け入れ基地です。

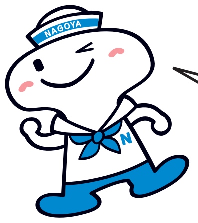
巨大タンカーの受け入れを可能とするために、水深が十分にある石油基地からおよそ9キロメートルはなれた場所に設置しています。

タンカーで運ばれてきた原油は、ここから海底にあるパイプを通して石油基地のタンクに送られます。

問5 タンカーで運ばれてきた原油は伊勢湾シーバースから石油基地のタンクへ何で運ばれるのでしょう。

ア 船　イ パイプ　ウ 飛行機

こく物基地や木材港の様子

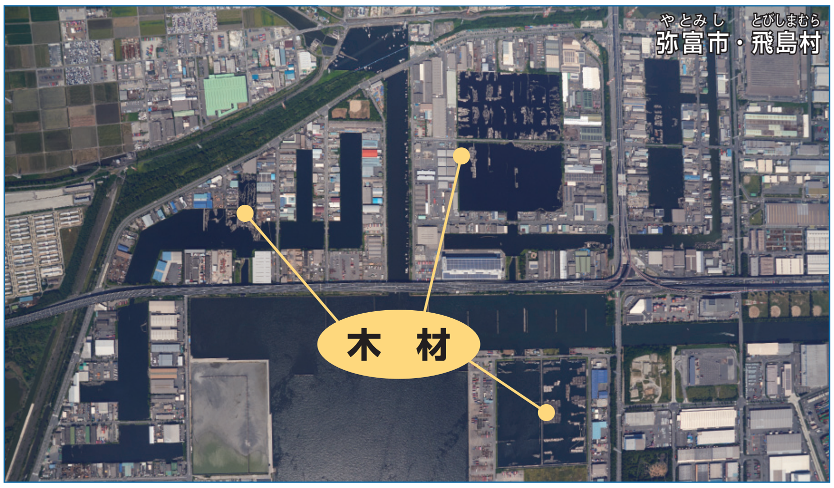


外国から船で名古屋港に運ばれてきたこく物や木材は、その後どうなるのかな。

こく物基地

こく物基地にはこく物を保管しておくサイロとよばれる倉庫がたくさんあり、船から受け入れるサイロだけでも約800本あります。大きなサイロ1本には、10トントラック100台分ぐらいのこく物を入れることができます。また、こく物基地には、小麦を粉にする製粉工場や、とうもろこしなどから飼料(家畜のえさ)を作る工場もあります。

木材港



木材港はバンテリンドームナゴヤのおよそ37個分もの広さがあります。

外国から運ばれてきた木はここにある貯木場に集められ、その多くが愛知県各地に運ばれていきます。

こく物の運び方

コンベヤなどでこく物(とうもろこし、麦、大豆)をサイロの中に入れます。

木材の運び方

木材をロープでしばり、いかだの形にして運びます。